

学校サーベイランスの有効な活用

どうして毎日するの？ どうしてインフルエンザ以外もするの？



日本学校保健会

国立感染症研究所

感染症情報センター



NATIONAL INSTITUTE OF INFECTIOUS DISEASES
国立感染症研究所

平成22年度厚生労働科学研究費補助金

「健康危機事象の早期探知システムの実用化に関する研究」

(研究代表者: 国立感染症研究所主任研究官大日康史)

お問い合わせ: ohkusa@nih.go.jp

<http://www.syndromic-surveillance.net>

症候群サーベイランス

感染症流行をいち早く探知!

Syndromic Surveillance



感染症法に基づくサーベイランス

■ 国立感染症研究所は感染症発生動向調査をしています。

■ <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

感染症発生動向調査 週報 2010年第15週(3月報告分) - Windows Internet Explorer

http://idsc.nih.go.jp/idw/douko/2010d/15douko.htm

◆ 定点把握の対象となる5類感染症(週報対象のもの)

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約8,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約500カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数も、報告数×定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第15週)	定点あたり報告数
インフルエンザ	0.14
麻疹	0.18
流行性腮腺炎	0.96
感染性胃腸炎	8.99
水痘	1.85
手足口病	0.55
伝染性紅斑	0.26
炭疽菌属	0.81
高熱症	0.93
ヘルペスウイルス	0.13
流行性下痢症	1.12
急性出血性結膜炎	0.01
流行性角膜炎	0.52
マイコプラズマ肺炎	0.30

当週報と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

インフルエンザ: 定点当たり報告数が増加した。都道府県別では佐賀県(1.51)、山梨県(0.80)、岩手県(0.56)、山口県(0.56)、新潟県(0.48)、沖縄県(0.47)が多し。

小児科定点報告疾患: RSウイルス感染症の報告数は660例と前週に減少が強い。年齢別では、歳以上の報告数が全体の約74%を占めている。咽頭結核熱の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別では宮城県(0.78)、新潟県(0.48)、福井県(0.45)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数が増加した。都道府県別では福井県(3.69)、山形県(3.60)、富山県(3.14)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3週連続で増加、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別では福井県(19.5)、宮城県(18.9)、富山県(17.9)が多い。水痘の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では宮城県(4.2)、鹿児島県(3.3)、沖縄県(2.9)が多い。手足口病の定点当たり報告数は3週連続で増加、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では茨城県(4.0)、福井県(3.14)、広島県(2.78)、高知県(2.53)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では山形県(1.00)、三重県(0.93)、福井県(0.88)が多い。百日咳の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では広島県(0.19)、奈良県(0.11)、千葉県(0.10)が多い。ヘルペスウイルスの定点当たり報告数は3週連続で増加、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では熊本県(1.15)、高知県(0.7)、香川県(0.57)が多い。流行性下痢症の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では沖縄県(3.00)、石川県(2.62)、和歌山県(2.48)が多い。

基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数が増加した。都道府県別では沖縄県(2.00)、宮城県(1.92)、埼玉県(1.67)が多い。

感染症週報を公表しています。

しかしながら7-10日前のことであります。



もっと早く知りたい...

国立感染症研究所 感染症情報センター - Windows Internet Explorer

http://idsc.nih.go.jp/index-j.html

国立感染症研究所 感染症情報センター

最新情報

- 5月11日 インフルエンザ流行レベルマップ【疾患別情報】第17週(4月26日～5月2日)
- 5月10日 予防接種情報 United States 2010 海外のワクチン情報
- 5月10日 病原体情報 [IAS] 新型インフルエンザ(A/H1N1pdm)オセルタミビル耐性株検出情報(2010年5月7日現在)
- 5月7日 腸管出血性大腸菌感染症【疾患別情報】腸管出血性大腸菌感染症発生状況(週報)第16週
- 5月7日 麻疹【疾患別情報】麻疹発生状況(週間グラフ) 2010年第16週
- 4月30日 感染症発生動向調査週報[IDWR] 第15号(平成22年4月12日～4月18日、3月報)
- 4月28日 インフルエンザ罹患発生報告(学校欠席者数) [IDWR] 2009/10シーズン 第26報
- 4月27日 病原体情報 [IAS] インフルエンザウイルス分離・検出速報 2009/10シーズン

疾患別情報

感染症情報センターのHPでとりあげた疾患、および予防接種についてジャンル別と索引で示しています。

サーベイランス

感染症発生動向調査 週報(IDWR) 感染症流行予測調査 病原微生物検出情報(IASR) 院内感染対策サーベイランス(JANIS)

各種情報

FETP-J 実地疫学専門家養成コース 全国衛生研究所一覧 研修 全国保健所一覧 異種移植と感染症 EpiInfo

厚生労働省 検疫所 海外感染症情報 地方衛生研究所ネットワーク 結核予防会結核研究所 食品安全委員会 WHO Geneva

国立感染症研究所感染症情報センター

症候群サーベイランス

● 感染症流行をいち早く探知!

◆ 症候群サーベイランスとは？

このホームページは、「症候群サーベイランス」の日本における実用例について紹介しています。

- 「**症状**」のサーベイランスです。
- 電子化されたデータで、自動的に収集します。
- 常時稼働します。
- 流行探知システム統計分析を開発しました。

感染症の「**早期探知**」を迅速に行うサーベイランスです。

▶ もっと詳しく

さまざまなサーベイランスがあります。それぞれの情報源をクリックしてください。

<p>OUTPATIENT 外来</p>	<p>INPATIENTS 入院 院内感染早期探知</p>	<p>AMBULANCE TRANSFER 救急車搬送</p>	<p>PRESCRIPTION 薬局</p> <p>昨日の状況掲載中</p>	<p>OVER THE COUNTER OTC (一般用医薬品)</p>
<p>DAYCARE FACILITY FOR CHILDREN 保育園</p>	<p>SCHOOL ABSENTEESISM 学校欠席</p> <p>本日の状況掲載中</p>	<p>CARE FACILITY FOR THE ELDERLY 高齢者施設 (老人保健施設)</p>	<p>TEST ORDER 検査</p>	

論文ダウンロード

イベント
サーベイランス

お問い合わせ

平成22年度厚生労働科学研究費補助金健康安全・危機管理対策研究事業

「健康危機事象の早期探知システムの実用化」に関する研究

研究代表者:
国立感染症研究所感染症情報センター
主任研究官 大日康史

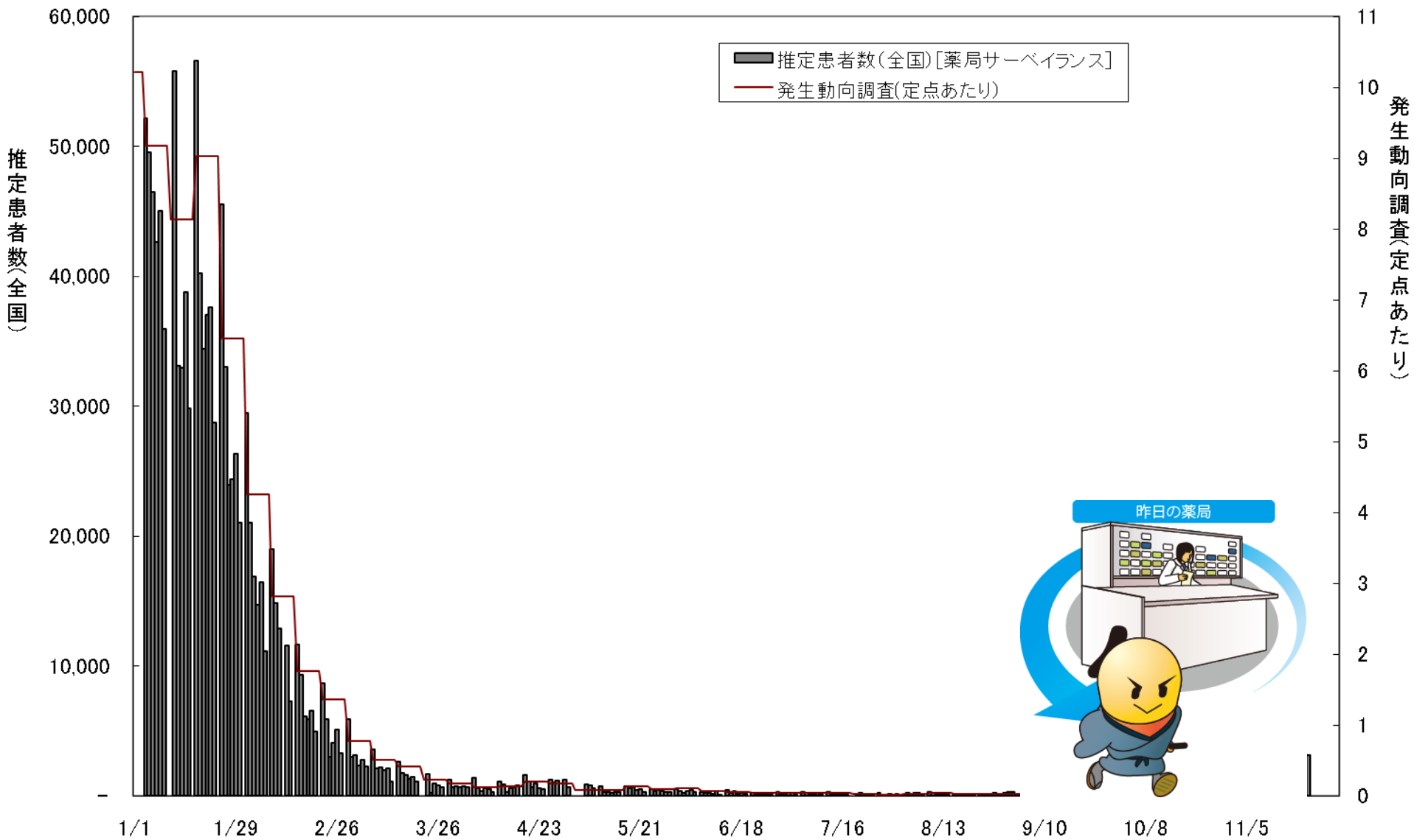
mail: ohkusa@nih.go.jp
FAX: 03-5285-1129

▶ [著作権などについて](#)

Director-General Statement following the ninth meeting of the Emergency Committee 10 August 2010

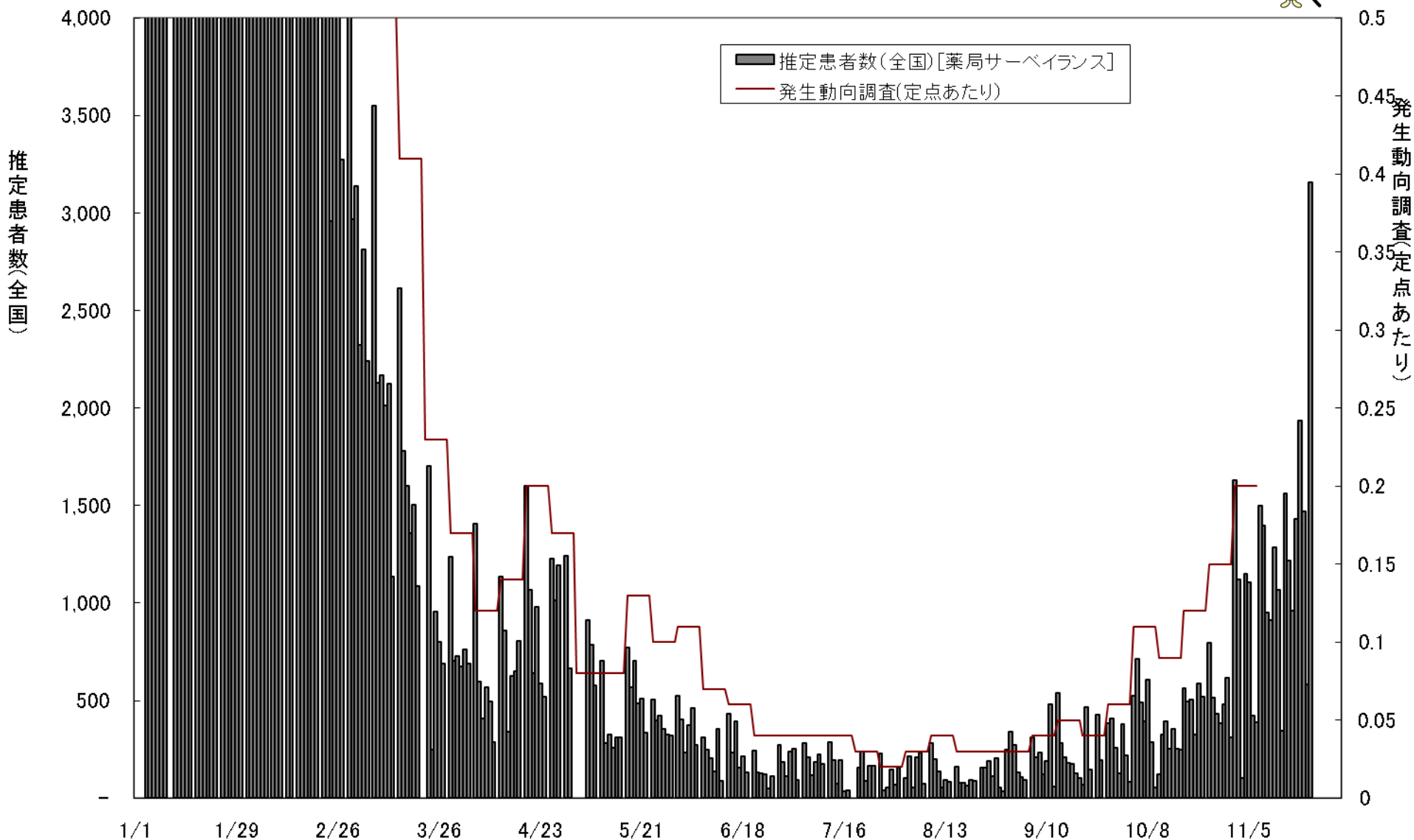
- **The Committee agreed that the global influenza situation no longer represented an extraordinary event requiring immediate emergency actions on an international scale. In their view, the public health emergency of international concern, recommended following the emergence of the H1N1 (2009) virus, should be considered over. The Committee further noted that the temporary recommendations adopted in response to the public health emergency of international concern were terminated.**

今年のインフルエンザ流行は？



* 7月1日より縦軸の目盛り設定を変更しました。

みえにくいので、
次ページへ。



* 目盛り設定が変更になっています。

ある、先生のお言葉より

- 欠席者の情報収集なんて、一年間通してなんて、時間がないので、できません。
- インフルエンザがはやっていないんだし、それ以外の季節はしなくていいのではないのでしょうか...

本日は、こうしたご意見にお答えしていこうとおもいます。



「入力が大変です」と言われる先生がいらっしゃいます。
しかし、その中身は、わかれています。
あなたは、どの「大変？」大変なのを解決していきましょう。

入力が大変です。

「毎日」が大変なのです。

入力が大変です。

「欠席者の把握」が大変なのです

入力が大変です。

「インターネット」
「パソコン」が大変なのです

入力が
大変です。

毎日が
大変なのです。

これまで毎日把握はしていて、
台帳にはありますが、
どこにも届けていなかった。

これまでは教育委員会の届け
は月まとめだった。

毎日する意味が
わからない。

入力が
大変です。

欠席者の把握が
大変なのです

朝に行事があると忙しい。
保護者からの連絡があいまいで
欠席の理由があいまい。
欠席連絡の受け方にルールが
ないので、理由があいまい。
これまで理由まで聞いて
いなかった。(特に高校生)

欠席理由を聞く意味
がわからない。

入力が
大変です。

インターネット
パソコンが
大変なのです。

パソコンを普段使わない。
パソコンが苦手。
保健室にインターネットが
つながっていない。
パソコンがない。

パソコンに慣れる？

もし、感染症流行が拡大してしまったら、、、

- 感染症は、「なにが」「いつ」はやるのか、予測できるでしょうか？



私たち国立感染症研究所も
わかりません。



医師もわかりません。

- **なぜ、生徒・児童の健康観察は、毎日、年間とおして必要なのでしょうか。**
- **なぜ、感染症対策は、インフルエンザ以外の季節でも、大事なのでしょうか。一年とおしてすることが大事なのでしょうか。**



毎日することの重要性

- 生徒・児童の健康観察は、毎日、年間とおしてすることで、早期探知をすることができます。
- 早期探知をすることで、感染拡大を防ぐことができます。
- 感染症対策は、インフルエンザ以外の季節でも、大事です。いつ、どこで、なにが流行るのか予測はできません。
- 感染拡大をおこすと、そこからの対策は大変なことです。



学校保健安全法

- **第九条 養護教諭その他の職員は、相互に連携して、健康相談又は児童生徒等の健康状態の日常的な観察により、児童生徒等の心身の状況を把握し……**

欠席者の理由を聞くことの重要性 インフルエンザ以外の感染症対策

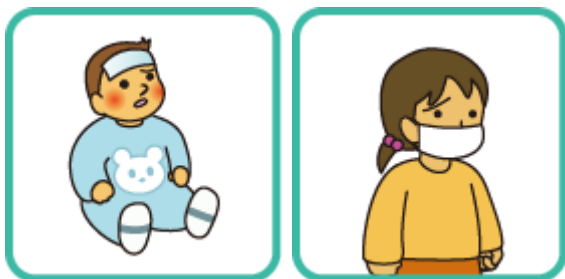


- 下痢・嘔吐の欠席者が増えた場合には、手洗い励行や、嘔吐物を素手でさわらないことを生徒に伝えることは、感染性胃腸炎(ノロウイルス)対策になります。
 - 症状でのお休み理由は、感染症早期探知に役立ちます。
- 例えば、流行性耳下腺炎など数名のお休みがあった場合には、他校の状況をシステムで確認することができます。
- 感染症が「いつ」「なにが」流行するのか予測できる人はいません。

学校が感染症対策をする重要な意味

- 感染症は集団生活において、集団感染、二次感染を起こすことがあります。
- そして、家庭へ持ち帰り、そこで親、祖父母、兄弟姉妹に感染させる可能性をもっています。

家庭にもちかえると...



弟、妹に感染します。
年齢の小さい、0歳児の場合もあります。
まだ免疫力がついていないことが多いです。



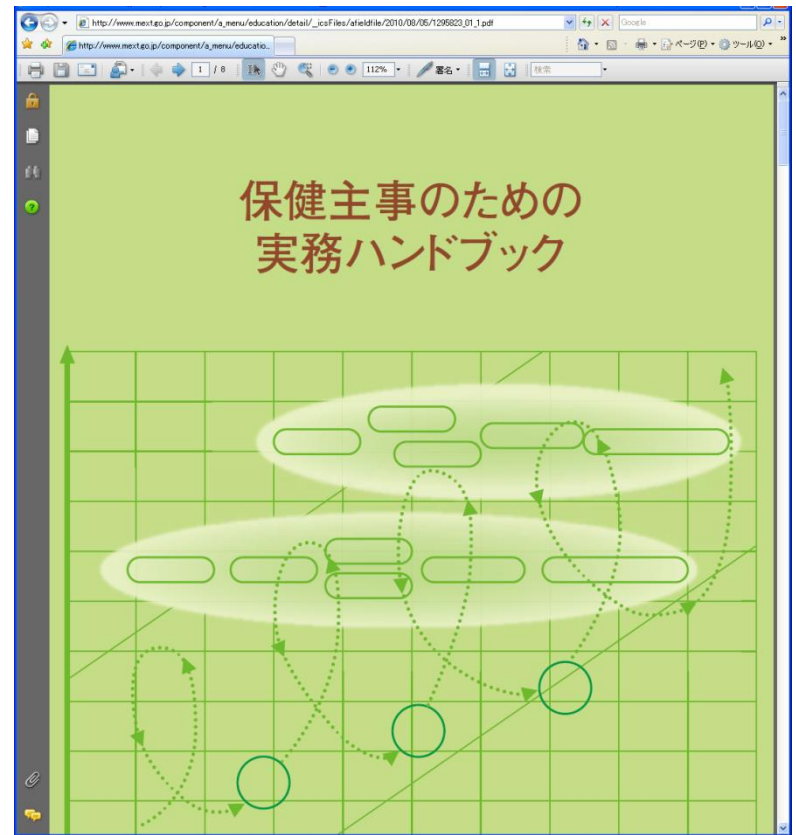
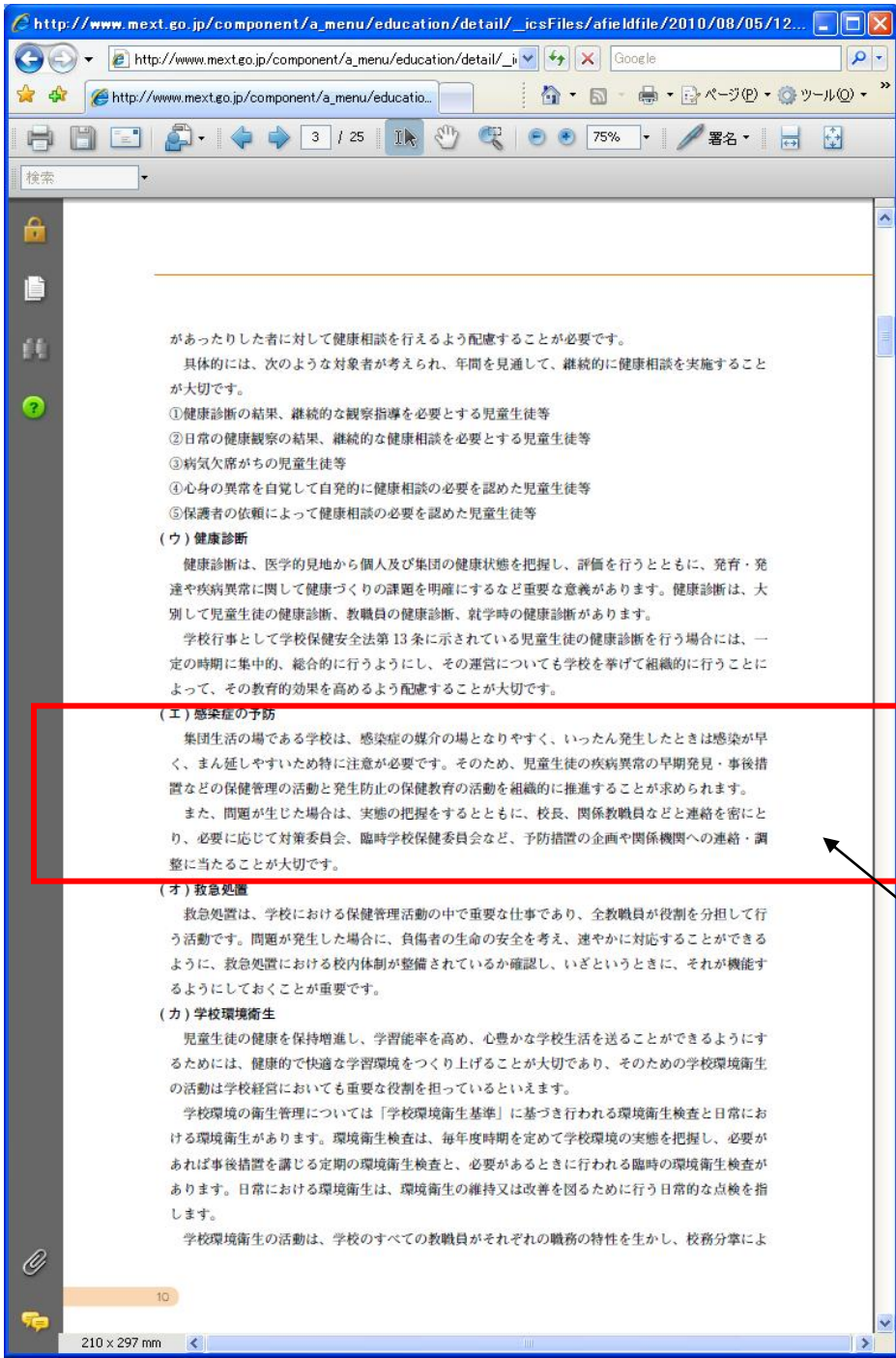
おばあちゃん、おじいちゃんに感染します。
高齢者は免疫力が落ちている場合もあります。



お母さん、お父さんとの
接触距離は近いので
家族内感染おこります。



お母さんが妊娠中のことも
あります。



平成22年3月
文部科学省

ここに注目

(工) 感染症の予防

- 集団生活の場である学校は、感染症の媒介の場となりやすく、いったん発生したときは感染が早く、まん延しやすいため特に注意が必要です。そのため、児童生徒の疾病異常の早期発見・事後措置などの保健管理の活動と発生防止の保健教育の活動を組織的に推進することが求められます。
- また、問題が生じた場合は、実態の把握をするとともに、校長、関係教職員などと連絡を密にとり、必要に応じて対策委員会、臨時学校保健委員会など、予防措置の企画や関係機関への連絡・調整に当たることが大切です。

学校保健安全法施行令

(保健所と連絡すべき場合)

- **第五条 法第十八条 の政令で定める場合は、次に掲げる場合とする。**
- **一 法第十九条 の規定による出席停止が行われた場合**
- **二 法第二十条 の規定による学校の休業を行つた場合**

お使いなので、お気付きだと思いますが、、、これらを支援するシステムです。

- 児童生徒の疾病異常の早期発見
- 実態の把握
- 校長、関係教職員などと連絡を密に
- 必要に応じて関係機関への連絡・調整

学校欠席者情報収集システムは、
「記録」「連携」「早期探知」が一元化されたシステムです。

先生方が普段からなさっている、感染症対策を、もっとしやすくするためのシステムです。

導入してよかったという意見より。

- 2009年のインフルエンザの地域別の発生状況・臨時休業状況がよく把握でき、校内の感染症予防に対する意識向上につながりました。
- 他校、他地域の状況を知ることができました。
- 感覚的ではなく、数値として流行状況が校内、地域でリアルタイムに近い状況で把握できました。
 - 早期発見
 - 実態把握



導入してよかったという意見より。

- 日々の全校生徒の健康状態の把握を通して、学年主任との連携が密になりました。
- 一定以上の欠席者がでると、学校医にメールで自動的に知らせる機能があるため、大変便利でした。
- 入力した情報が、すぐ県や保健所に届くので便利でした。
- 都道府県、県内、市町村ごとの一覧が確認でき、児童や保護者の注意喚起に使えました。
 - － 連絡を密に
 - － 連絡・調整



「学校欠席者情報収集システム」の 現状（2010年10月末現在）

稼働中	鳥取県・岐阜県・島根県・香川県・新潟県・茨城県・佐賀県・千葉県・宮城県（仙台市除く）・長崎県・福岡市・長野県・大分県・高知県 10000校・全学校の22%
一部導入	東京都（都立、中野区）・埼玉県（所沢市）・栃木県（小山市）・愛媛県（松前町・四国中央市）・青森県（十和田市）・静岡県（県立の一部）・広島県（熊野町）
調整中	秋田県・奈良県・三重県・堺市
検討中	山口県・熊本県・滋賀県・神奈川県・栃木県・岩手県・群馬県

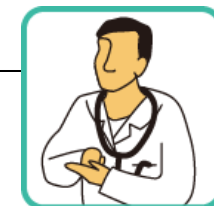
学校欠席者 情報収集システムのご案内

<http://www.syndromic-surveillance.net/gakko/index.html>



**メリット①学校ごとに記録
解析資料を自動作成
集計表、グラフ、地図の表示**

メリット②校医との連携
リアルタイムの情報共有
状況把握の説明なしに相談が
できる(学級閉鎖、予防の指
導)→早期対応で感染拡大
防止へ



メリット③近隣の状況
中学校区の地図情報で地域の
流行状況が把握できる

メリット④省力化
臨時休業や出席停止の届を
オンライン上で提出
月報の自動作成



**メリット⑤費用はかかりません。
インストールするソフトもありません。**



学校保健安全法施行規則

- **第20条（出席停止の報告事項）**
- **令第7条の規定による報告は、次の事項を記載した書面をもつてするものとする。**
 - 一 **学校の名称**
 - 二 **出席を停止させた理由及び期間**
 - 三 **出席停止を指示した年月日**
 - 四 **出席を停止させた児童生徒等の学年別人員数**
 - 五 **その他参考となる事項**

新機能① 一般公開

● 全国の状況

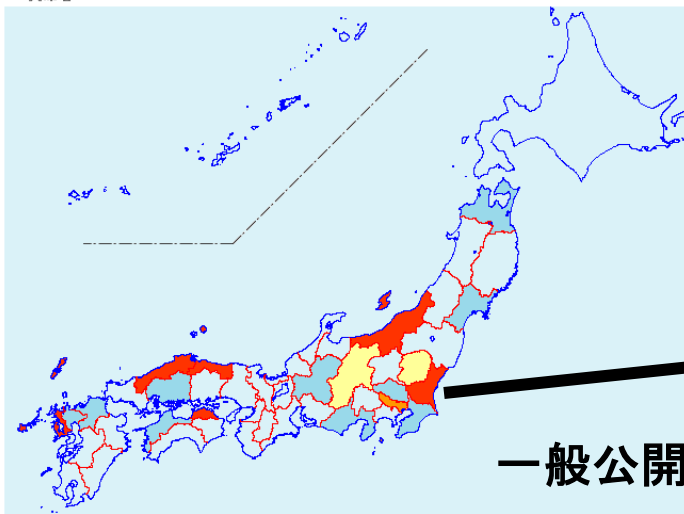
都道府県名: 全国 集計日時: 2010年06月02日 16:00

[<< 前日](#)
※日付変更を行った場合はこのボタンを押して下さい
2010年 6月 2日
[再表示](#)
[翌日 >>](#)

- | | | |
|---------------|--------------|-----------|
| 欠席者 | 発熱 | 頭痛 |
| 急性呼吸器症状 | 下痢・腹痛 | 嘔気・嘔吐 |
| 発疹 | インフルエンザ様症状 | 学級閉鎖 |
| 出席停止(インフルエンザ) | 出席停止(感染性胃腸炎) | 出席停止(その他) |

※地図をクリックすると都道府県の詳細情報が参照できます

欠席者



上記の色は、
 学級閉鎖については臨時休業によって閉鎖されているクラス数
 出席停止についてはその人数
 それ以外については過去1週間に比べ異常に欠席者が増加しているクラス数を示しております。

本システムについてのお問い合わせは、
 国立感染症研究所 主任研究官 大日康史(ohkusa@nih.go.jp)までご連絡ください

[ページTOPへ](#)

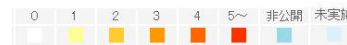
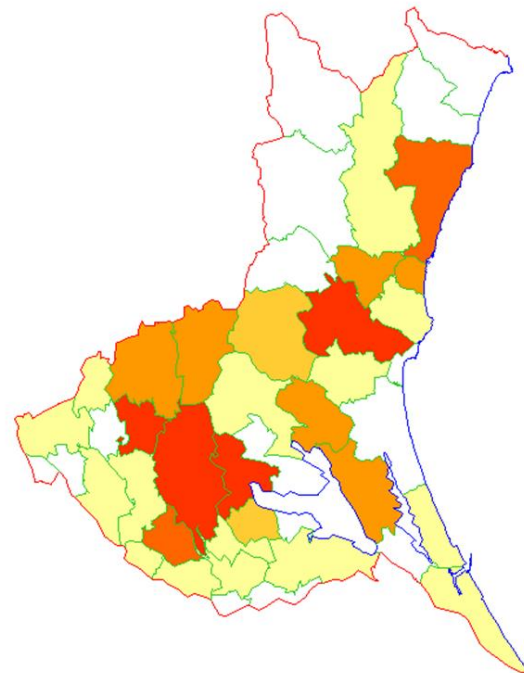
● 都道府県の状況 [全国地図に戻る](#)

都道府県名: 茨城県 集計時刻: 2010年09月04日 23:50

[<< 前日](#)
※日付変更を行った場合はこのボタンを押して下さい
2010年 9月 28日
[再表示](#)
[翌日 >>](#)

- | | | |
|---------------|------------|-------|
| 欠席者 | 発熱 | 頭痛 |
| 急性呼吸器症状 | 下痢・腹痛 | 嘔気・嘔吐 |
| 発疹 | インフルエンザ様症状 | 学級閉鎖 |
| 出席停止(インフルエンザ) | | |

欠席者



上記の色は、
 学級閉鎖については臨時休業によって閉鎖されているクラス数
 出席停止についてはその人数
 それ以外については過去1週間に比べ異常に欠席者が増加しているクラス数を示しております。

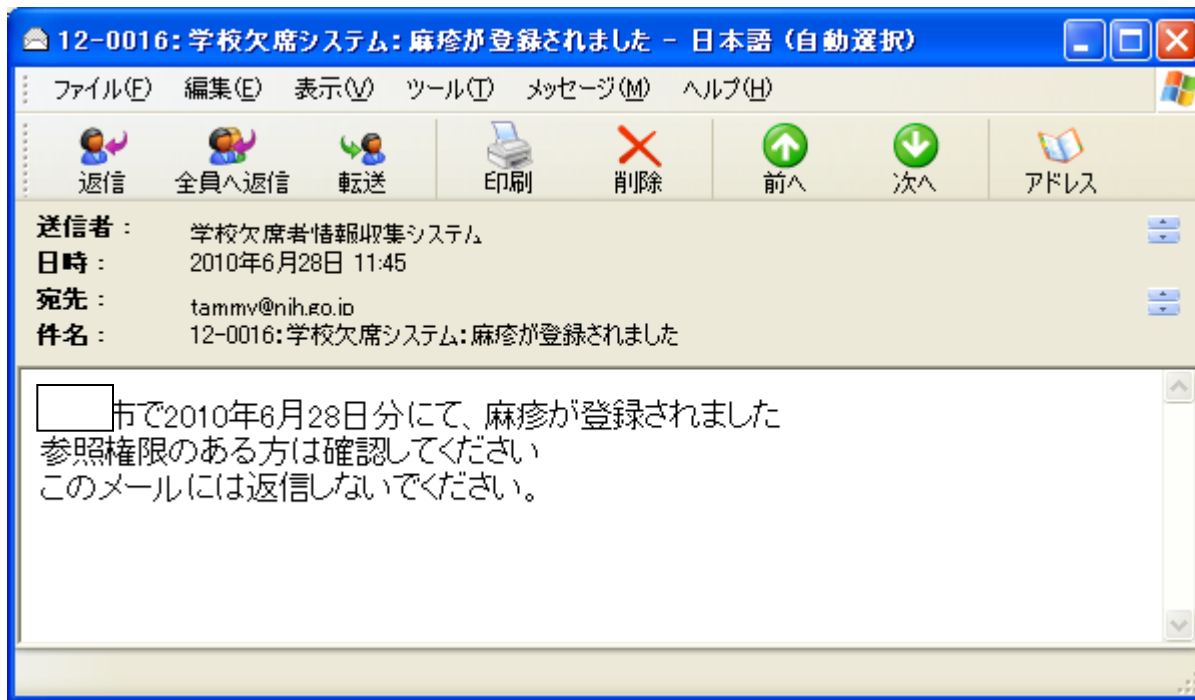
[ページTOPへ](#)

一般公開情報: 全国

新機能②「特定疾患による出席停止登録の自動メール」

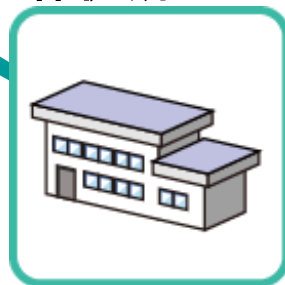
- 麻しん・風しん・結核・腸管出血性大腸菌感染症による出席停止が登録されれば、教育委員会、保健所、県庁及び国立感染症研究所、文部科学省にメールを自動送信
- 変更・削除時も自動通知
- より早い対策へ活用





麻しん対策は、
一例でたらすぐ対応！

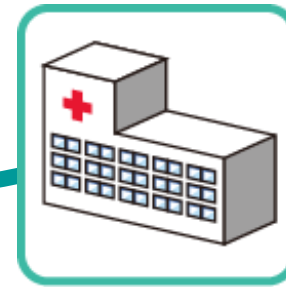
県庁
県教育委員会
保健所



市町村(学
校組合)教
育委員会



学校医



新機能③県からのお知らせ

学校欠席者情報収集システム - Microsoft Internet Explorer

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 検索 お気に入り 移動 リンク TREND プロテクト™

アドレス(AD) https://scl6.953862.net/shimane/pref/index.php?m=20325

学校欠席者情報収集システム

参照

施設名: 島根県保健福祉部

■お知らせ
6月30日～7月7日の1週間の間に、流行性耳下腺炎で出席停止になった児童生徒が述べ27名います。
その他の感染症で目立った流行は認められません。

●地域の状況 [出席停止の状況](#) [一般公開情報\(全国\)](#)

都道府県名: 島根県

自治体: 全域

<< 前日 ※日付変更を行った場合はこのボタンを押して下さい! 再表示 翌日 >>

2010年07月08日 の地域の状況

各市区町村には所在する施設分が計上されます。

欠席者 発熱 頭痛
急性呼吸器症状 下痢・腹痛 嘔気・嘔吐

https://scl6.953862.net/shimane/pref/index.php?m=20260&year=2010&mon=07&day=08 インターネット

お知らせが
できます

新機能④ 出席停止の予定終了日

出席停止届け入力画面に、「出席停止の予定終了年月日」の入力欄を追加いたしました。
当該入力にて入力された日付で欠席者入力画面への自動計上がおこなわれるようになります。
当該入力欄を利用することで、日々の欠席者入力画面での人数調整の負担が軽減されます。

尚、当該欄の日付は出席停止を指示した日を含め4日間（または、次ページの県教委にて設定された日数）で設定されております。

また、結果的に予定日と異なった場合でも、欠席者入力画面での人数調整以外の作業は発生いたしません。

当該出席停止届けの予定終了年月日を選択できるようにします
※基本4日間の自動計上ですが、当該欄を使用することで指定期間内のみで自動計上が可能です。

学校欠席者情報収集システム

施設名: やまだ小学校

●出席停止報告入力画面

本日のインフルエンザによる出席停止の人数調整は「欠席者入力画面」にて行ってください

出席停止を指示した年月日 2010年5月24日

新規/作成済みの修正 新規

※日付変更を行った場合はこのボタンを押して下さい
再表示

※すでに同じ日付、理由で登録されている場合には、新規/作成済みの▽を押して「作成済:***」のリストから選んで再表示を押してください。
※出席停止については、指示した日より予定終了年月日まで自動計上されますので、欠席入力画面にて微調整をおこなってください。
※出席停止の理由を変更する場合は、削除した後、再度作成して下さい

◆停止を命じた日のみに入力を行ってください。◆

出席を停止させた理由および期間	理由: [==] 「その他感染症」を選択した場合は理由を↓こちらに記入(自由記入) 期間: (自由記入)
出席停止の予定終了年月日	2010年5月26日 未定であれば特に調整不要です この期間自動計上にされますが、欠席者入力画面で調整できます
出席を停止させた児童(生徒)の学年別人数	[==]名 ※出席停止を指示した人数を入力して下さい。 [==]名 在籍者数を入力しないようにお願いします。 [==]名 [==]名 追加
学校区の見解(自由記入)	<input type="checkbox"/> 氏名記載欄で別紙名簿の謄写と記載し、別紙名簿を用意
今後の措置(自由記入)	
その他(自由記入)	

本日のインフルエンザによる出席停止の人数調整は「欠席者入力画面」にて行ってください

確認

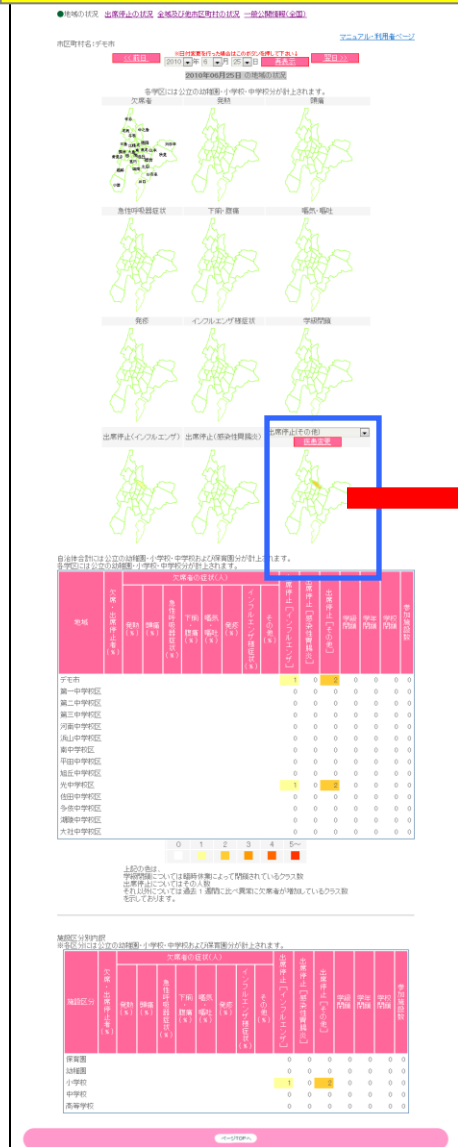
ページTOPへ

新機能⑤

出席停止（その他）の選択

地域の状況（市区町村画面）

1. 「出席停止（その他）」を「出席停止（その他：合計）」としました。
2. プルダウンメニューを追加し、インフルエンザ、感染性胃腸炎以外の出席停止の疾患を選択できるようにしました。
3. 出席停止の疾患を選択し、[疾患変更]で地図表示が切り替わります。



出席停止(インフルエンザ) 出席停止(感染性胃腸炎) 出席停止(その他:合計)

疾患変更

出席停止(その他:合計)
出席停止(その他:合計)
水痘(みずぼうそう)
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
咽頭結膜熱
百日咳
麻疹
風疹
結核
腸管出血性大腸菌感染症
流行性角結膜炎
急性出血性結膜炎
その他感染症
インフルエンザ(感染の疑い)
溶連菌感染症
マイコプラズマ感染症
手足口病
ヘルパンギーナ
RS

佐賀市中学校区地図

市区町村名:佐賀市

[マニュアル・利用者ページ](#)

<< 前日

※日付変更を行った場合はこのボタンを押して下さい↓

2010年 11月 12日

再表示

翌日 >>

2010年11月12日 の地域の状況

各学区には公立の幼稚園・小学校・中学校および中学校区が設定されている保育園分が計上されます。

欠席者

発熱

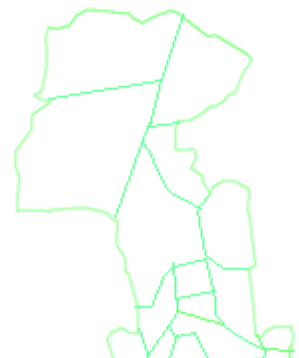
頭痛



急性呼吸器症状

下痢・腹痛

嘔気・嘔吐



新機能 ⑥ 出席停止（感染性胃腸炎）の追加

欠席者入力画面及び参照画面に「出席停止（感染性胃腸炎）」の項目を追加いたしました。これまでは「出席停止（その他）」に計上いただいていた、感染性胃腸炎について当該入力欄での人数計上をお願いいたします。

● 学校欠席者情報収集システム

施設名: やまだ小 学校

● 欠席者入力

※日付変更を行った場合はこのボタンを押して下さい | 一括簡易入力・修正はこちら

日付: 2010年 5月 28日

出席停止の登録(命じた日のみ)は | 学校階級の場合はこちらをクリック

入力 ○ 1年 (未入力)
 入力 ○ 2年 (未入力)
 入力 ○ 3年 (未入力)
 入力 ○ 4年 (未入力)
 入力 ○ 5年 (未入力)
 入力 ○ 6年 (未入力)
 入力 ○ 教職員 (未入力)

2010年5月28日 2010年5月28日の出席停止人数の調整は

学年	クラス	欠席・出席停止者総数(人)	欠席者の症状(人)							出席停止「インフルエンザ」	出席停止「感染性胃腸炎」	出席停止「その他」	学級閉鎖	年度別	全期間	
			発熱	頭痛	急性呼吸器症状	下痢・嘔吐	発疹	インフルエンザ様症状	その他							
1年	1組	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

閉鎖期間 05月25日～05月28日

複数の症状が該当する場合には、すべての症状に加工して下さい
 「インフルエンザ様症状」とは38度以上の発熱かつ急性呼吸器症状をさします。
 「急性呼吸器症状」とは、ア)鼻汁もしくは鼻閉、イ)咽頭痛、ウ)咳のいずれかの症状をさします。
 上記の「インフルエンザ様症状」に該当する場合は「発熱」と「急性呼吸器症状」にも加算してください。
 出席停止者については「欠席者の症状」への入力は不要です。
 ただし、欠席・出席停止者総数には含めてください。
 ※例えば、「インフルエンザ」による出席停止の場合は「インフルエンザ様症状」としての入力は不要です。
 ・思引(自己都合・不登校・ケガ・入院(感染症以外の原因によるもの))については欠席者に含めないで下さい
 ・コメント記載時は学年・クラス名も記載して下さい

コメント

登録

ページTOPへ

出席停止[感染性胃腸炎]が追加されました。
 同様に一括入力画面でも当該項目が増えております

● 学校欠席者情報収集システム

施設名: やまだ小 学校

● 参照

CSV全体ダウンロード: ダウンロード

参照

※日付変更を行った場合は

日付: 2010年 5月 28日

※データ検索日を入力して【再表示】ボタンを押すと、該当欠席者入力画面で入力されたインフルエンザ様症状、発熱、学級・学年・学校階級中のクラス・学年における画面ではと表示され、下記の画面と異なる場合があります

印刷用

学年	クラス	欠席・出席停止者総数(人)	欠席者の症状(人)							出席停止「インフルエンザ」	出席停止「感染性胃腸炎」	出席停止「その他」	学級閉鎖	年度別	全期間	
			発熱	頭痛	急性呼吸器症状	下痢・嘔吐	発疹	インフルエンザ様症状	その他							
1年	1組	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	05月25日～05月28日	グラフ表示	
1年	学年計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		グラフ表示	グラフ表示
2年	1組	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		グラフ表示	グラフ表示
2年	学年計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		グラフ表示	グラフ表示
3年	1組	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		グラフ表示	グラフ表示
3年	学年計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		グラフ表示	グラフ表示
4年	1組	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		グラフ表示	グラフ表示
4年	学年計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		グラフ表示	グラフ表示
5年	1組	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		グラフ表示	グラフ表示
5年	学年計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		グラフ表示	グラフ表示
6年	1組	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		グラフ表示	グラフ表示
全校		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		グラフ表示	グラフ表示
教職員		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		グラフ表示	グラフ表示
総合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		グラフ表示	グラフ表示

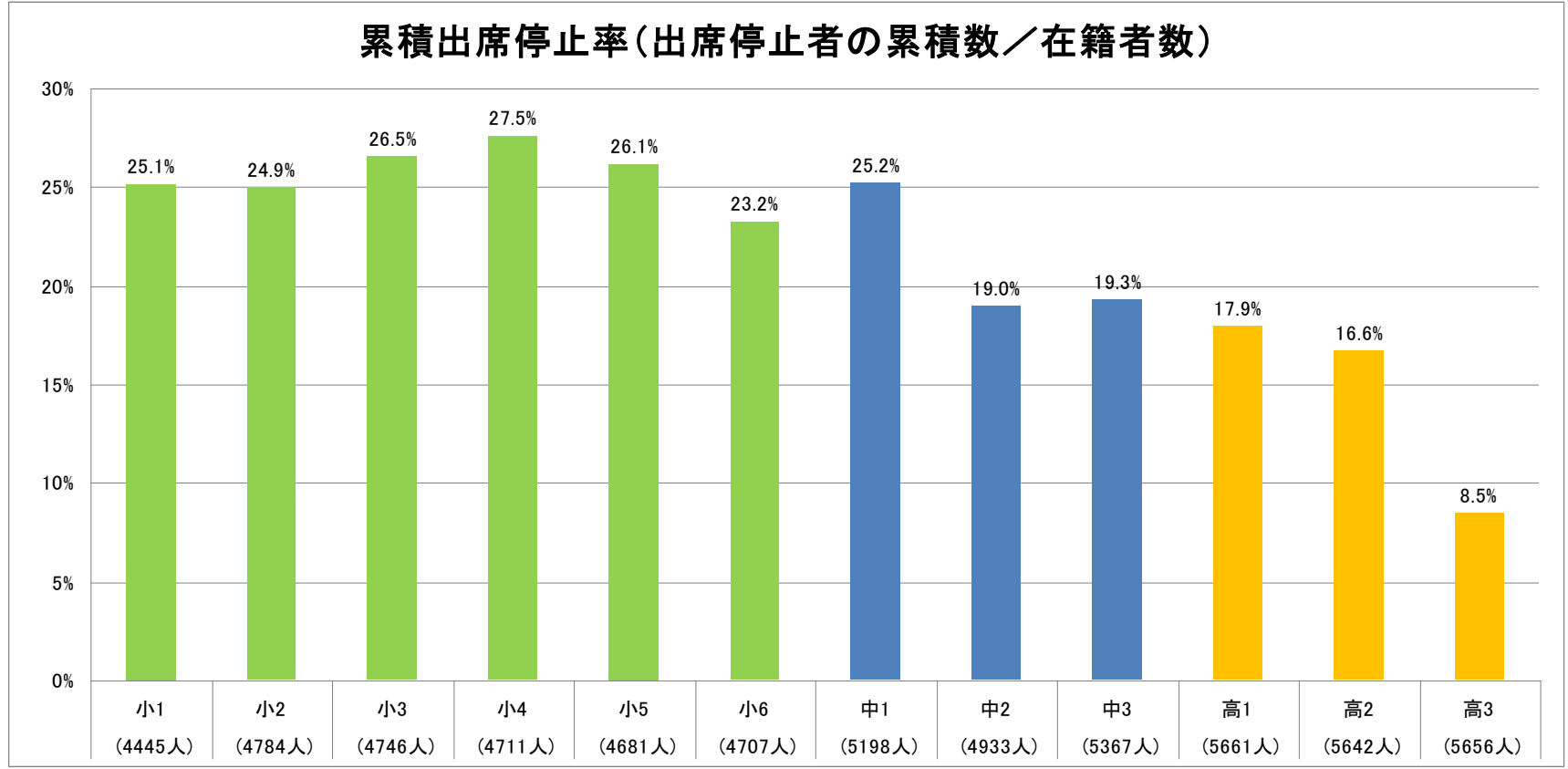
コメント

ページTOPへ

出席停止[感染性胃腸炎]が追加されました。
 ※グラフ及びCSVダウンロードにも追加されております

実装⑧ 累積出席停止率(学校別、地域別、全県)

学校欠席者サーベイランスによるインフルエンザ出席停止率
鳥取県 2009/8/20～2010/3/31

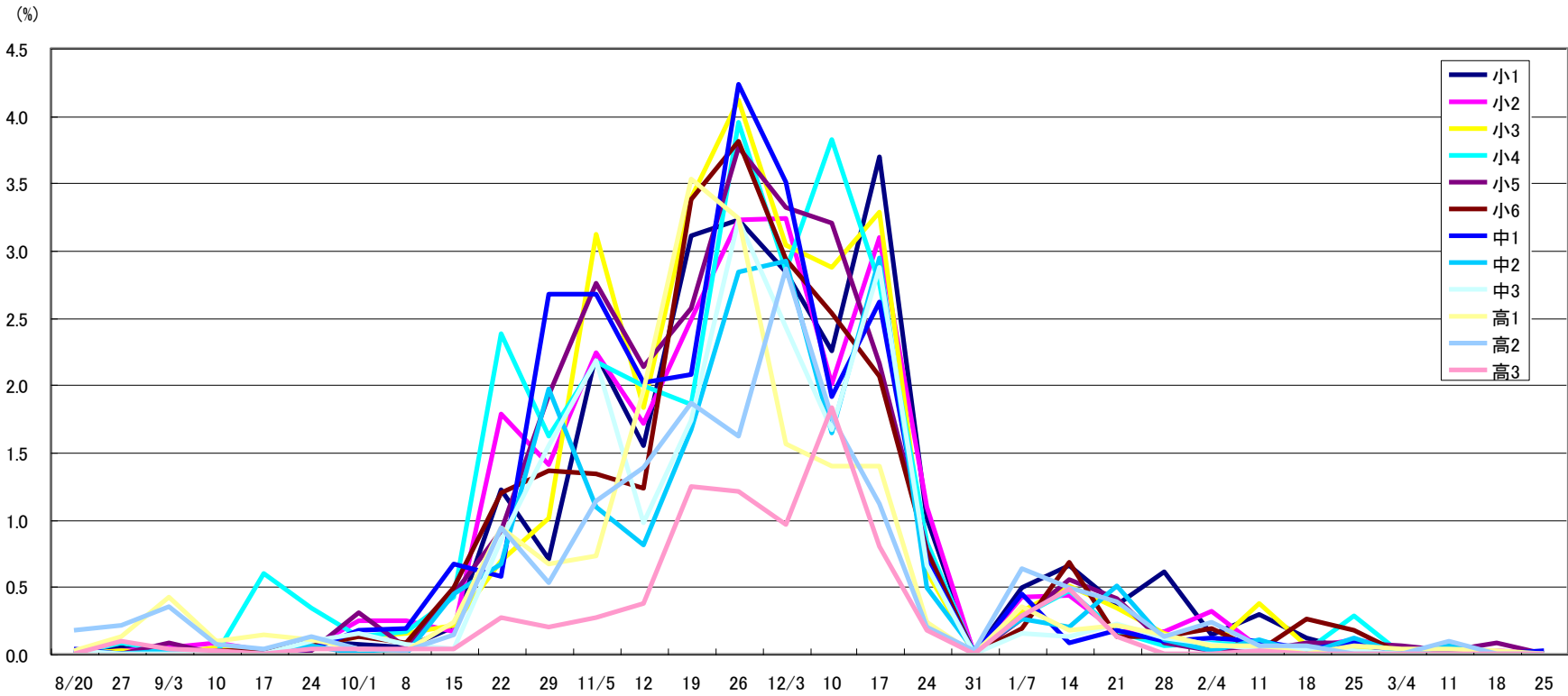


出典:鳥取県学校欠席者情報収集システム
国立感染症研究所感染症情報センター

実装⑨ 出席停止率流行曲線(学校別、地域別、全県)

学校欠席者サーベイランスによるインフルエンザ出席停止率
学年別（週単位・折れ線グラフ）

鳥取県出席停止率 学年別（週単位）



出典：鳥取県学校欠席者情報収集システム
国立感染症研究所感染症情報センター

「保育園欠席・発症者情報システム」による感染症対策

国立感染症研究所感染症情報センターが、「保育園欠席者情報収集システム」を開発しました。
利用するにあたって、費用はかかりません。ソフトにインストールはいりません。

**記録・連携・早期探知を
同時に！**



欠席・
発症の
連絡

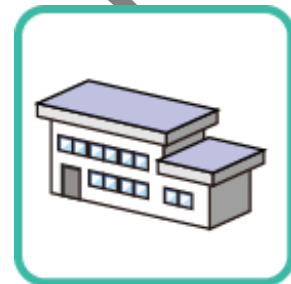
保育園



保育担当課



保健所



**リアルタイムに共有
→早期に対策**

県庁
県保育担当課

臨床医・医師会



園医



健康状態の観察
罹患状態の把握

違うところ

疾患名：

インフルエンザ、感染性胃腸炎、
水ぼうそう、おたふくかぜ、手足口
病、ヘルパンギーナ、RS、溶連菌
感染症、咽頭結膜炎、流行性角結
膜炎、その他の疾患

感染の兆し スピード把握

保育園が情報入力 ネットで共有

インフルエンザなどの集団感染が起きやすい保育園で、感染の状況をいち早くつかむシステムを国立感染症研究所が作った。各保育園に、端末から子どもの感染状況を入力してもらい、インターネットで情報を共有する。厚生労働省は地方自治体を通じて全国の保育園に参加を働きかけている。

保育園では、おもちゃなどを通して園児の間で感染が広がりやすい。感染の状況はこれまで、指定医療機関を受診した数を感染研が集計しているが、1週間分をまとめるため、

状況の把握は7～10日ほど遅れることになる。

新しいシステムでは、各保育園に、園児の発熱や下痢などの症状、水ぼうそう、プール熱(咽頭結膜熱)など病気の種類、欠席などの情報を毎日入力してもらおう。

集まった情報をグラフにすると、どの病気がいつごろ流行し始めたかがひと目でわかる。病欠児が一定数に達すると、その園を担当する医師にすぐにメールで連絡される。保健所や地域の医師会も流行状況を知ることができる。

300近くの保育園で導入が始まっているが、厚労省は今後、約2万3千ある全国の認可保育所に参加を呼びかける。感染研では、3年間で8割程度の参加を目指しているほか、文部科学省を通じて幼稚園にも参加を呼びかけたいとしている。

感染研情報センターの安井良則・主任研究官は「5分程度の手間で流行の立ち上がりに早く気づける。どの病気に気をつけるべきかを、園や地域の医療機関が保護者に呼びかけられるので、感染拡大を食い止められる」と話す。

感染研のウェブサイトではデモ版(<https://school.953862.net/demo/demo>)を体験できる。ログインIDとパスワードはともに「11223」。(熊井洋美)

4. トップページ (ログイン画面)

学校欠席者情報収集システム

他校のIDと間違えないようご注意ください

①一覧より、自施設のログインIDをクリックします

②初期パスワードを入力します

③[ログイン]をクリックします

ログインID: 13004

パスワード: ●●●●

ログイン

VeriSign Secured
クリックして検証

13004	▼
13001	▲
13002	
13003	
13004	
13005	
13006	

5-1. 自施設情報の登録画面

初期登録

ログインID: 13000

中学校区: 研修中学校10

区分: 小学校

施設名称: 研修小学校0

校長名: 研修校長名

登録担当者: 研修担当者名

住所: 研修県研修市研修2-1

連絡先電話番号: 1234567890

連絡先FAX番号: 1234567890

連絡先メールアドレス: test@test.com

現在のパスワード: 新しいパスワードを設定してください。

新しいパスワード: 54321

新しいパスワードの確認入力: 54321

オプション項目(必須ではありません)
校医パスワードでログインすると入力できませんが、自施設および地域状況の参照ができます
ログイン画面 URL (https://school.953862.net/kensyu/kensyu2/) と ログインID、校医パスワード、をお伝え下さい。

校医パスワードの設定: [入力欄] *入力担当者と同じパスワードは使用できません *半角英数字のみ

校医パスワード再入力: [入力欄] *上記と同じパスワードをもう一度入力して下さい

関係者メールアドレスへの通知メール送信条件は以下のとおりです。
・欠席者の急増発生時・閉鎖発生時・出席停止登録時

関係者メールアドレス1: [入力欄]

関係者メールアドレス2: [入力欄]

関係者メールアドレス3: [入力欄]

関係者メールアドレス4: [入力欄]

関係者メールアドレス5: [入力欄]

ログイン時の画面: ログイン直後に新規の出席停止の登録が必要かどうかの確認画面を
 表示する 表示しない
※表示しないを選択した場合、欠席者入力画面が表示されます

確認

①中学校区を選択します
※県立、私学、国立、保育園では表示されません
※県立、私学、国立では「所在地」選択を行います

②ご利用になる学校区分と施設名称に誤りが無いか確認します
※他校でのログインにご注意ください

③自施設の情報を入力します

④パスワードを半角英数で入力します
※初期パスワードは使用できません

⑤必要な場合は、校医パスワードを設定してください(必須ではありません)
※初期パスワード及び担当者パスワードと同じものは使用できません
※連絡先メールアドレスに指定したメールアドレスには、各症状にて欠席者が急増した場合、出席停止者、学級閉鎖及び学校閉鎖入力時に通知メールが送信されます

⑥[確認]をクリックします

7. メインメニュー（ログイン後画面）

初期登録を完了すると、次回ログイン時よりこの画面が表示されます

● 学校欠席者情報収集システム ●



出席停止



欠席者入力



参照



自施設情報



クラス定籍



学級閉鎖確認



クラスター確認



地域の状況



ログアウト



マニュアル

施設名：やまだ小学校

新規の出席停止の登録がある場合は左のボタン(出席停止入力)から、新規の出席停止を登録してください
ない場合には右のボタン(欠席者入力)を押してください

- ※既に登録済みの出席停止分の日々の微調整については、欠席者入力画面より行ってください
- ※出席停止入力画面にて入力する新規の出席停止は、出席停止指示日分のみ入力してください
- ※出席停止の登録は、医師による診断に基づいて入力してください



出席停止入力画面へ



欠席者入力画面へ

現時点では疾患の登録を行わないため欠席者入力のボタンをクリックします

「表示しない」をクリックすると、次回ログイン時よりこの画面を表示しないように設定できます

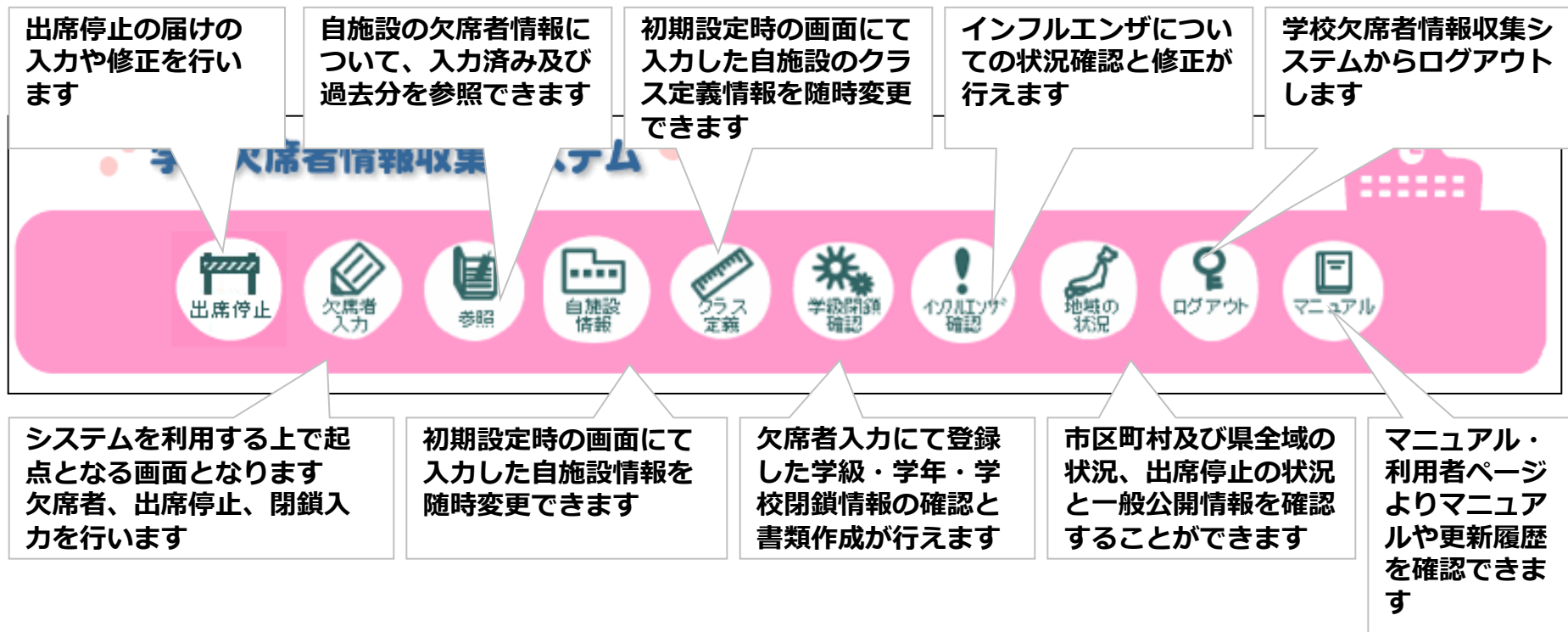
今後この画面を表示しないようにするには右のボタンを押してください→

表示しない

※再度表示する場合は「自施設情報」画面より設定変更が行えます

ページTOPへ

7-1. メインメニュー



- ・ **操作中はブラウザの「戻る」ボタンは使わないでください。**
- ・ **画面を移動するときは、必ず画面上部のメインメニューまたは各画面の「修正」ボタンをクリックしてください。**

7-2. メインメニュー（ログイン後画面）

欠席者入力画面のボタンをクリックするとこの画面が表示されます
 先程の画面で「表示しない」に設定するとログイン時にこの画面が表示されます



施設名：やまだ小学校

県教委からのお知らせがある場合ここに表示されます

■お知らせ
 さらに追加された情報も1つの枠の中に表示されます。
 表示順序は新しいものから降順となります。
 県教委からのお知らせ事項がこの場所に表示されます。
 複数行で入る場合もあります。

● 欠席者入力

[マニュアル・利用者ページ](#)

※日付変更を行った場合はこのボタンを押して下さい！ [一括簡易入力・修正はこちら](#)
 日付：2010年 7月 9日 [再表示](#) ※一括簡易入力画面では、出席停止の入力はできません。

出席停止の登録(命じられた日のみ)はこちら [出席停止の戻し](#)

学校閉鎖の場合はこちらをクリックしてください。 [学校閉鎖](#) [学校閉鎖](#)

- | | | |
|--------------------|--------------------------------|----------------------|
| 入力 | <input type="radio"/> 1年(未入力) | 学年閉鎖 |
| 入力 | <input type="radio"/> 2年(未入力) | 学年閉鎖 |
| 入力 | <input type="radio"/> 3年(未入力) | 学年閉鎖 |
| 入力 | <input type="radio"/> 4年(未入力) | 学年閉鎖 |
| 入力 | <input type="radio"/> 5年(未入力) | 学年閉鎖 |
| 入力 | <input type="radio"/> 6年(未入力) | 学年閉鎖 |
| 入力 | <input type="radio"/> 教職員(未入力) | |

2010年7月9日

2010年7月9日の出席停止人数の調査はこちら ↓ ↓ ↓

学年	クラス	欠席・出席停止者総数(人)	欠席者の症状(人)							出席停止「インフルエンザ」	出席停止「感染性胃腸炎」	出席停止「その他」	学級閉鎖	
			発熱	頭痛	急性呼吸器症状	下痢・腹痛	嘔気・嘔吐	発疹	インフルエンザ様症状					その他

- ・複数の症状が該当する場合には、すべての症状に加算して下さい
- ・「インフルエンザ様症状」とは38度以上の発熱かつ急性呼吸器症状をさします。
 「急性呼吸器症状」とは、ア)鼻汁もしくは鼻閉、イ)咽頭痛、ウ)咳のいずれかの症状をさします。
- ・上記の「インフルエンザ様症状」に該当する場合は「発熱」と「急性呼吸器症状」にも加算してください。
- ・出席停止者については「欠席者の症状」への入力は不要です。
 ただし、欠席・出席停止者総数には含めてください。
 ※例えば、「インフルエンザ」による出席停止の場合は「インフルエンザ様症状」としての入力は不要です。
- ・忌引・自己都合・不登校・ケガ・入院(感染症以外の原因によるもの)については欠席者に含めないで下さい
- ・コメント記載時には学年・クラス名も記載して下さい

9-1-2. 出席停止届け入力画面（演習解答画面）

前ページ演習問題の出席停止入力手順 1年1組2名（インフルエンザ）

学校欠席者情報収集システム

①出席停止ボタンをクリック

②本日であることを確認

③出席停止理由のインフルエガを選択

④1年1組の2名を入力

⑤確認ボタンをクリック

本日のインフルエンザによる出席停止の人数調整は「欠席者入力画面」で行ってください

出席停止を指示した年月日
2010年7月30日

出席停止理由
理由: インフルエンザ
「その他感染症」を選択した場合は理由をここに記入(自由記入)

出席停止の予定終了年月日
2010年8月3日

出席を停止させた児童(生徒)の学年別人数
1年 1組 2名

確認

本日のインフルエンザによる出席停止の人数調整は「欠席者入力画面」で行ってください

●出席停止報告確認画面

2010年 07月 30日

⑥登録内容に間違いがないか確認

出席を停止させた理由および期間
理由: インフルエンザ
期間: 2010年 08月 03日

出席停止の予定終了年月日
2010年 08月 03日

出席を停止させた児童(生徒)の学年別人数
1年 1組 2名

登録

⑦登録ボタンをクリック

●学校欠席者情報収集システム

●出席停止報告入力画面 出席停止の状況

⑨出席停止届けPDFを作成

⑧登録完了画面が表示される

このボタンは出席停止の期間の終了を意味するものではありません。現在登録されている出席停止の記録そのものを削除します。出席停止を終って登録された場合のみお使いください。

9-1-3. 出席停止届け報告様式例（参考画面）

別紙1

報告年月日 平成 22 年 11 月 22 日

高知県教育委員会 様

高等学校学校長

印

感 染 症 等 報 告 書

下記の通り感染症予防のための出席停止の措置をとりましたので報告します。

記

1. 出席を停止させた理由及び期間
インフルエンザ

11月22日～

2. 出席停止を指示した年月日 平成 22 年 11 月 22 日

3. 出席を停止させた児童（生徒）の学年別人数

3年 1 名

4. 出席を停止させた児童（生徒）

3年

5. 学校医の意見

6. 今後の措置

7. その他

9-1-4. 欠席者情報入力画面 (学年別入力画面)

2010年7月30日 2010年7月30日の出席停止人数の調整はこちら ↓ ↓ ↓

学年	クラス	欠席・出席停止者総数(人)	欠席者の症状(人)								出席停止「インフルエンザ」	出席停止「感染性胃腸炎」	出席停止「その他」	出席停止「学級」	出席停止「その他」	学級	
			発熱	頭痛	急性呼吸器症状	下痢・腹痛	嘔気・嘔吐	発疹	インフルエンザ様症状	その他							
1年	1組	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	閉鎖
1年	2組	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	閉鎖

**出席停止入力済みの状態
学年：1年の入力開始時**

出席停止入力にてインフルエンザの2名を入力した場合は、ここに2が自動計上されます
※欠席者入力、出席停止入力はどちらを先に行っても構いません

2010年7月30日 2010年7月30日の出席停止人数の調整はこちら ↓ ↓ ↓

学年	クラス	欠席・出席停止者総数(人)	欠席者の症状(人)								出席停止「インフルエンザ」	出席停止「感	出席停止	出席停止	学級	
			発熱	頭痛	急性呼吸器症状	下痢・腹痛	嘔気・嘔吐	発疹	インフルエンザ様症状	その他						
1年	1組	4	1	0	0	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0	閉鎖

**演習の欠席入力後の状態
学年：1年の入力後**

欠席と出席停止人数の合計4名を入力します

インフルエンザによる出席停止者は2名なので修正しません
※実際の出席停止人数と異なる場合は修正入力します

熱での欠席が1名あるので1を入力します

1名が下痢と吐き気での欠席があるのでそれぞれ1を入力します

9-5-1. 出席停止月報入力画面・出席停止月報書類作成

●出席停止月報

2010年7月 **再表示**

※月報画面で「出席停止期間」を手動入力後に、当該出席を含む出席停止データを出席停止報告入力画面にて修正した場合、手動入力された「出席停止期間」が初期状態に戻り
 ※「出席停止期間」を修正した時は、画面最下段の「月報情報更新」ボタンをクリックしてください

①作成対象の年・月を選択して再表示をクリックします

④月報情報が更新されるとメッセージを表示します

2010年7月分のデータを更新しました

2010年7月 **再表示**

※月報画面で「出席停止期間」を手動入力後に、当該出席を含む出席停止データを出席停止報告入力画面にて修正した場合、手動入力された「出席停止期間」が初期状態に戻ります
 ※「出席停止期間」を修正した時は、画面最下段の「月報情報更新」ボタンをクリックしてください

現在作成されている月報はありません

PDF出力

理由	学年クラス	出席番号等	出席停止を指示した日	出席停止期間
感染性胃腸炎	2年1組		2010年7月26日	2010年7月26日 ~ 2010年7月29日
インフルエンザ	1年1組		2010年7月30日	2010年7月30日 ~ 2010年8月2日
インフルエンザ	1年1組		2010年7月30日	2010年7月30日 ~ 2010年8月2日
インフルエンザ	1年1組		2010年7月30日	2010年7月30日 ~ 2010年8月2日

背景が着色されている項目は月報情報を作成した後で更新された箇所です。月報作成は件数によって、処がかかります場合があります。

②実際の個人毎の出席停止期間（開始～終了）を入力します

③月報情報更新をクリックすることで月報情報が作成されます

⑤表示月の月報情報がある場合、[PDF出力]のボタンが表示されます
 ※[PDF出力]ボタンをクリックすると選択されている作成済み月報の情報を元に書類作成が行えます

当該欄に入力した内容はPDFには反映されません（任意入力）

月報情報更新

室戸市教育委員会教育長 様

学校の名称
_____校長名
_____**感染症による出席停止報告(11 月分)**

下記のとおり報告いたします。

番号	学年	組	出席番号・氏名等	出席を停止させた理由	出席を停止させた期間	出席停止を指示した年月日
1	1年	1組		咽頭結膜熱	11月2日～11月5日	11月2日
2	1年	1組		咽頭結膜熱	11月4日～11月7日	11月4日

9-6. 欠席者情報入力画面（データ入力後の入力日の表示）

■ 入力前表示

入力	○ 1年（未入力）
入力	○ 2年（未入力）
入力	○ 3年（未入力）
入力	○ 4年（未入力）
入力	○ 5年（未入力）
入力	○ 6年（未入力）
入力	○ 教職員（未入力）

● 欠席者入力 [マニュアル・利用者ページ](#)

※日付変更を行った場合はこのボタンを押して下さい↓ [一括簡易入力・修正はこちら](#)

日付: 2010年 4月 19日 ※一括簡易入力画面では、出席停止の入力はできません。

出席停止の登録(命じた日のみ)はこちら

学校閉鎖の場合はこちらをクリックしてください 学校閉鎖:

<input type="button" value="修正"/>	○ 1年（入力済）	<input type="button" value="学年閉鎖"/>
<input type="button" value="修正"/>	○ 2年（入力済）	<input type="button" value="学年閉鎖"/>
<input type="button" value="修正"/>	○ 3年（入力済）	<input type="button" value="学年閉鎖"/>
<input type="button" value="修正"/>	○ 4年（入力済）	<input type="button" value="学年閉鎖"/>
<input type="button" value="修正"/>	○ 5年（入力済）	<input type="button" value="学年閉鎖"/>
<input type="button" value="修正"/>	○ 6年（入力済）	<input type="button" value="学年閉鎖"/>
<input type="button" value="修正"/>	○ 教職員（入力済）	

各学年の入力完了にて、「修正」
「学年（入力済み）」
の表示にかわります
入力日の各学年で未入力が無いこ
とを確認してください

10-1. 参照画面

●参照

CSV全件ダウンロード: [ダウンロード](#)

表示中日付の年度にて入力のあった全データをCSVファイルでダウンロードできます

この画面で全校の欠席者情報を一括表示することができます

マニュアル・利用

<< 前日 2010年 6月 1日 再表示 翌日 >>

※日付変更を行った場合はこのボタンを押して下さい↓

※データ検索日を入力して【再表示】ボタンを押すと、該当日のデータが表示されます。
 ※欠席者入力画面で入力されたインフルエンザ様症状の数がインフルエンザ様症状に計上されます。
 ただし、学級・学年・学校閉鎖中のクラス・学年におけるインフルエンザ様症状の人数はインフルエンザ確認画面では0と表示され、下記の画面と異なる場合があります。

印刷用

表示中の画面表の印刷ページが表示されます

学年	クラス	欠席・出席停止者総数(人)	欠席者の症状(人)								出席停止「インフルエンザ」	出席停止「感染性胃腸炎」	出席停止「その他」	学級閉鎖	年度別	全期間
			発熱	頭痛	急性呼吸器症状	下痢・腹痛	嘔気・嘔吐	発疹	インフルエンザ様症状	その他						
1年	1組	15	4	4	0	0	0	0	5	2	0	0	0	06月01日 ~ 06月04日	グラフ表示	
1年	2組		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		グラフ表示	
1年	3組		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		グラフ表示	
1年	学年		4	0	0	0	0	0	5	2	0	0	0		グラフ表示	グラフ表示

欠席者が急増した場合、背景が黄色で表示されます
 ※急増が発生した場合、連絡先メールアドレスに通知メールが送信されます

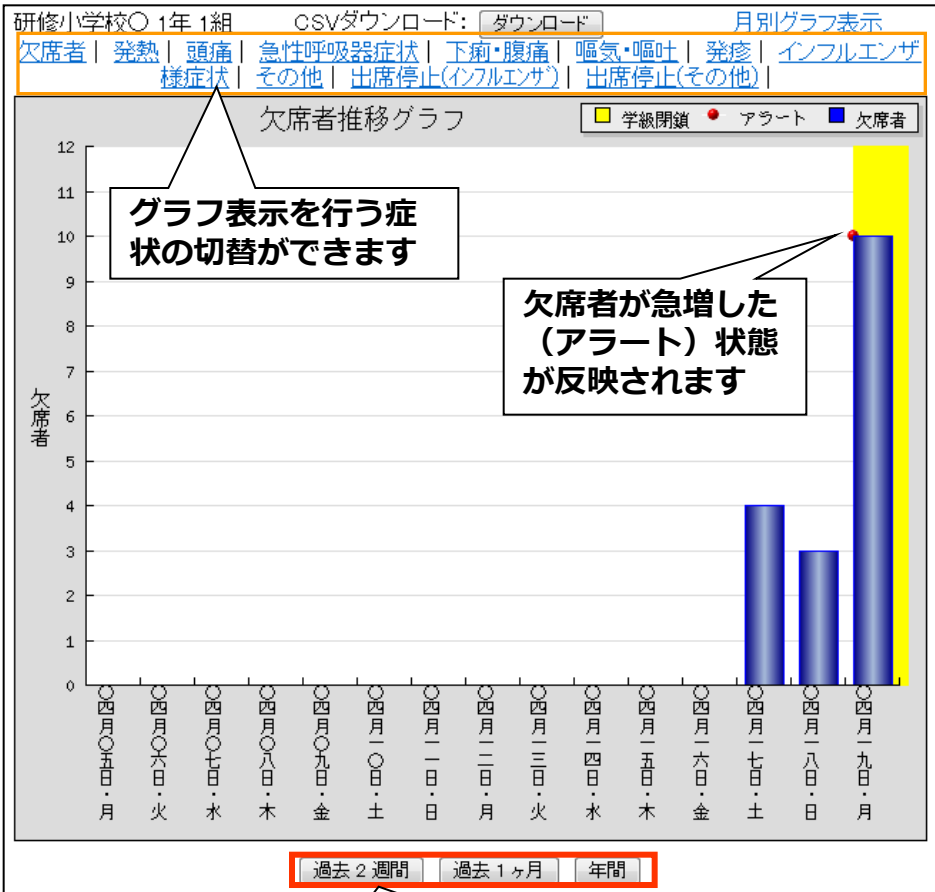
クリックすると年度別グラフが表示されます

クリックすると利用している全期間のグラフが表示されます

学級閉鎖の状態及び期間を表示します

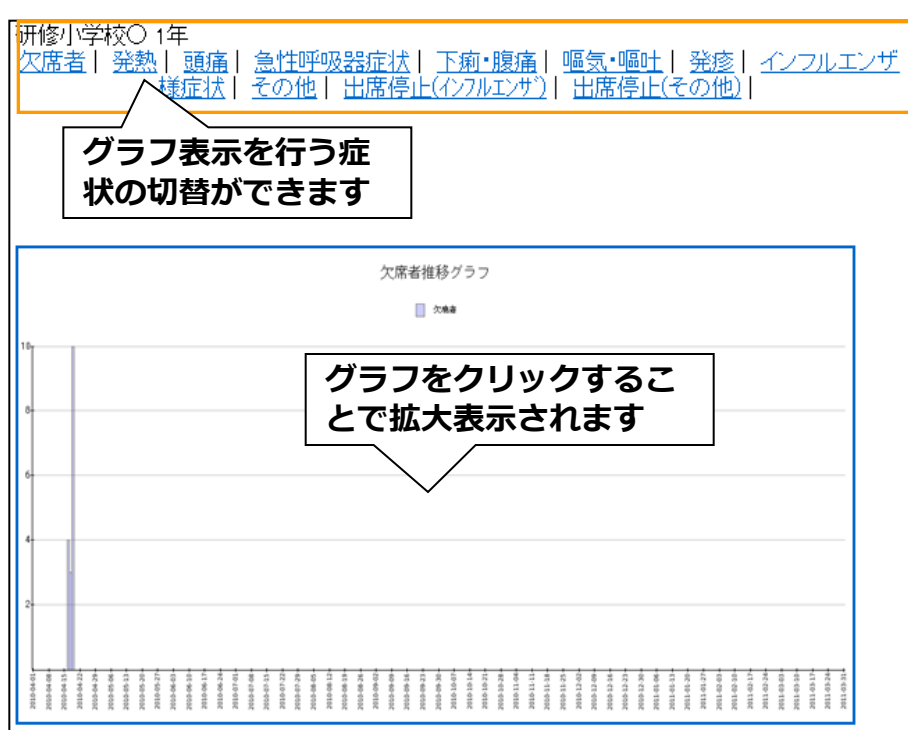
10-2. 参照画面 (グラフ表示画面)

■ 年度別グラフ画面



グラフ表示を行う期間の切替えができます

■ 全期間グラフ画面



1 1. 校医及び連絡先メールアドレスへの通知メール送信

差出人: 学校欠席者情報収集システム 宛先: /a.ne.jp
件名: 学校欠席者情報収集システムよりXXX小学校についてのお知らせ

XXX小学校にて以下の欠席者が増えております。

**1年1組 欠席者 3人
2年2組 欠席者 5人
2年4組 発熱 3人**

XXX小学校にて以下の閉鎖情報が報告されました。

学級閉鎖 3年 1組（閉鎖期間：2010年11月26日～2010年11月29日）

以下の出席停止が報告されました。

出席停止理由：新型インフルエンザ

**3年 2組 1人
2年 3組 2人**

詳細はログインしてご確認ください。

<https://school.953862.net/demo/demo/>

このメールには返信しないでください。

1 2 - 1. 学級閉鎖入力画面

■ 欠席者入力画面

学年	クラス	欠席・出席停止者総数(人)	欠席者の症状(人)								出席停止「インフルエンザ」	出席停止「感染性胃腸炎」	出席停止「その他」	学級閉鎖
			発熱	頭痛	急性呼吸器症状	下痢・腹痛	嘔気・嘔吐	発疹	インフルエンザ様症状	その他				
2年	1組	6	2	2	1	0	0	0	1	0	4	1	0	<input checked="" type="checkbox"/> 閉鎖

学級閉鎖を入力する場合、
チェックをいれます
※チェックの入った状態で
欠席者入力画面にて[登録]
をクリックすると学級閉鎖
画面へ遷移します

学級閉鎖入力画面が表示されます

■ 学級閉鎖入力画面

●学級閉鎖

受付: 2010年04月19日

インフルエンザ

学年	クラス	総患者数 (総欠席者数)	措置内容 措置期間	主要症状	備考
2年	1組	7 人	学級閉鎖	<input checked="" type="checkbox"/> 発熱(38.5 °C) <input checked="" type="checkbox"/> 咽頭痛 <input type="checkbox"/> 関節痛 <input checked="" type="checkbox"/> 倦怠感 <input checked="" type="checkbox"/> 悪寒 <input type="checkbox"/> 腹痛 <input type="checkbox"/> 下痢 <input checked="" type="checkbox"/> 咳(かぜ) <input type="checkbox"/> 頭痛 <input type="checkbox"/> 嘔吐 <input type="checkbox"/> 嘔気 <input type="checkbox"/> その他	
		(4 人)	2010 4 19 ~ 2010 4 22		

※総患者数は、該当症状での「総欠席者」+「登校しているが、症状を発症している者」の総数を入力してください

※総欠席者数は、「インフルエンザ様症状の欠席人数」+「インフルエンザによる出席停止の人数」の人数を入力してください

登録

登録キャンセル

1 2 - 2. 学級閉鎖入力画面

●学級閉鎖

日付:2010年04月19日

インフルエンザ

インフルエンザ
インフルエンザA型
インフルエンザB型
新型インフルエンザ
水痘(みずぼうそう)
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
咽頭結膜熱
百日咳
麻疹
風疹
結核
腸管出血性大腸菌感染症
流行性角結膜炎
急性出血性結膜炎
その他感染症

①学級閉鎖を行う疾患名
を選択します
初期値は「インフルエンザ」
となっております

学年	クラス	総患者数	措置内容	主要症状	備考
		(総欠席者数)	措置期間		
2年	1組	7人	学級閉鎖 2010年4月19日 ~ 2010年4月22日	<input checked="" type="checkbox"/> 発熱(38.5 °C) <input checked="" type="checkbox"/> 咽頭痛 <input type="checkbox"/> 関節痛 <input checked="" type="checkbox"/> 倦怠感 <input checked="" type="checkbox"/> 悪寒 <input type="checkbox"/> 腹痛 <input type="checkbox"/> 下痢 <input checked="" type="checkbox"/> 咳(かぜ) <input type="checkbox"/> 頭痛 <input type="checkbox"/> 嘔吐 <input type="checkbox"/> 嘔気 <input type="checkbox"/> その他	

②学年・クラスを
確認します

2年 1組

③人数を確認・必要
に応じて修正します

7人

※総患者数は、該当症状での「総欠席者」+「登校しているが、
症状を発症している者」の総数を入力してください

④人数を確認・必要
に応じて修正します

4人

※総欠席者数は、「インフルエンザ様症状の欠席人数」+「インフル
エンザによる出席停止の人数」の人数を入力してください

⑤措置内容を確認します
措置期間を選択します
当該閉鎖に係る主要症状
にチェックを入れます

⑥[登録]をクリックします
※このボタンをクリックすると、教育
委員会、保健所から参照できる
データを生成します。必ずクリック
してください

登録

登録キャンセル

別紙 3

報告年月日 平成 22 年 10 月 25 日

大豊町教育委員会教育長 様

その他感染症 疾患による臨時休業等の報告(休校・学年閉鎖・学級閉鎖等)

下記のとおり報告いたします。

初・()回目

学 校 名				校 長 名		
所 在 地	高知県 TEL 088			学 校 医 名		
在籍者総数 (全校生徒数)	82 人					
学年・組	在籍者数	① 欠席者数	② 登校権患者数 (体調不良者数)	計①+② 患者数	措置 休校・学年閉鎖・学級閉鎖	期間
特別支援学級1組	1	1	0	1	学級閉鎖	10/25 ~ 10/26
2年	28	28	-19	9	学年閉鎖	10/25 ~ 10/26
						~
						~
						~
						~
						~
						~
						~
						~
主な症状 (□で囲んでください)	突然の発症 38℃を越える発熱 上気道炎症 全身倦怠感 頭痛 筋肉痛 咽頭痛 咳 嘔吐 下痢 嘔吐					
見通し						
その他参考事項(措置した理由等)						

お問い合わせ

国立感染症研究所 代表 03-5285-1111

感染症情報センター主任研究官 大日康史(おおくさやすし)
内線2057 メール ohkusa@nih.go.jp

感染症情報センター主任研究官 安井良則(やすいよしのり)
内線2539 メール yyasui@nih.go.jp

大日・安井不在時は、
感染症情報センター研究員 菅原民枝(すがわらたみえ)
内線2056 メール tammy@nih.go.jp